

会場案内図

岡山コンベンションセンター

〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町 14-1

TEL : 086-214-1000/FAX : 086-214-3600

JR での所要時間

広島	約 39 分 (のぞみ)
米子	約 130 分 (特急やくも)
鳥取	約 110 分 (特急いなば)
松江	約 155 分 (特急やくも)
高松	約 53 分 (快速マリンライナー)
徳島	約 2 時間 18 分 (特急うずしお・高松から快速マリンライナー)
高知	約 2 時間 38 分 (特急南風)
松山	約 2 時間 44 分 (特急しおかぜ)



岡山駅2F 構内図



第 11 回中四国糖尿病療養指導スキルアップセミナー開催のご案内

この度、第 11 回中四国糖尿病療養指導スキルアップセミナーのお世話をさせていただくことになりました。このような機会を与えていただき、皆様に深く感謝申し上げます。

本セミナーのテーマは「チームで取り組むダイアベティス診療」といたしました。「ダイアベティス」という呼称は、糖尿病に対する誤解や偏見を払拭するために、「日本糖尿病協会」と「日本糖尿病学会」が提唱しています。「糖尿病」から連想されるイメージは、今まで診断された方々に大変な苦痛を与えていたと思います。また漢字圏以外のすべての国々で用いられている呼称であることも「ダイアベティス」を用いる理由だと思います。しかし「第 11 回中四国糖尿病ダイアベティス診療スキルアップセミナー」とセミナーの名称をすぐに変更できないので、「チームで取り組むダイアベティス診療」というテーマといたしました。

スキルアップセッションでは「インスリンポンプと CGM」、「糖尿病性腎症重症化予防」、「肥満症合併糖尿病における減量代謝改善手術」、「糖尿病網膜症」をテーマといたしました。チーム医療に取り組んでおられるスタッフの皆様に、すばらしいスキルの一端をご紹介します。またエキスパートレクチャーでは、岡山大学学術研究院保健学域看護学分野 加澤佳奈准教授、鹿児島大学病院総合臨床研修センター／糖尿病・内分泌内科 出口尚寿准教授、ランチョンセミナーでは、佐賀大学医学部肝臓・糖尿病・内分泌内科 安西慶三教授に講演をお願いいたしました。

「チームで取り組むダイアベティス診療」をテーマにスキルアップを図ることにより、ダイアベティスのある方々に寄り添った診療が実現するよう祈念いたします。

第 11 回中四国糖尿病療養指導スキルアップセミナー

世話人 和田 淳

岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学

<申請中 取得可能単位>

日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会<2 群> 2 単位

日本糖尿病教育・看護学会<1 群> 2 単位

日本病態栄養学会<1 群> 2 単位

中四国各県 LCDE 単位

日 時：2024 年 3 月 3 日（日）8:50～16:10

会 場：岡山コンベンションセンター（岡山市北区駅元町 14-1）

※本会は現地集合型での開催です。オンライン参加はございません。

主 催：日本糖尿病学会中国四国支部

後 援：（一社）日本糖尿病療養指導士認定機構、（一社）日本糖尿病教育・看護学会、（一社）日本病態（予定）栄養学会、（一社）日本栄養士会、（一社）山口県医師会、（一社）山口県薬剤師会、（公社）山口県看護協会、（公社）山口県栄養士会、（一社）山口県理学療法士会、（一社）山口県臨床検査技師会、（一社）山口県糖尿病協会、NPO 法人山口県糖尿病療養支援機構

世話人：和田 淳（岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学）

企画責任者：料治 三恵（岡山大学病院）

テーマ：チームで取り組むダイアベティス診療

参加費：3,000 円（お申し込み後、クレジット決済にてお支払いください。）

定 員：500 名（定員になり次第締め切らせていただく場合があります。）

参加申し込み：事前参加のみです。下記セミナーホームページよりお申し込みください。

ホームページ：<https://www.kwcs.jp/cdec11/>

事前参加登録期間：2023 年 12 月 20 日（水）～2024 年 2 月 26 日（月）

<お問い合わせ先>

株式会社キョードープラス 〒701-0205 岡山県岡山市南区妹尾 2346-1

TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682 E-mail：cdec11@kwcs.jp

<プログラム>

2024 年 3 月 3 日（日） 岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール 8:20 受付開始～

テーマ：チームで取り組むダイアベティス診療

※敬称略

8:50～8:55 世話人 開会挨拶

岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学 和田 淳（医 師）

8:55～9:00 主催挨拶

日本糖尿病学会中国四国支部 支部長 谷澤 幸生（医 師）

9:00～10:00 エキスパートレクチャー 1

座長：岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学 和田 淳（医 師）

生活習慣病の保健指導におけるエキスパートスキルを考える

— 暗黙・実践知に見える化するシステム開発の試み —

岡山大学学術研究院保健学域看護学分野 加澤 佳奈（看護師）

10:05～11:05 スキルアップセッション 1 インスリンポンプと CGM

座長：岡山済生会総合病院 内科・糖尿病センター 利根 淳仁（医 師）

当院における糖尿病治療デバイス導入の実際

岡山医療センター 金光 彩夏（看護師）

インスリンポンプ・CGM の導入とフォロー体制

倉敷中央病院 藤原 恭子（看護師）

チームの力を発揮する！インスリンポンプ・CGM 治療支援

岡山済生会外来センター病院 脇本 美香（看護師）

11:10～12:10 スキルアップセッション 2 糖尿病性腎症重症化予防

座長：川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学 下田 将司（医 師）

糖尿病患者教育における管理栄養士の役割

岡山医療センター 栄養管理室 田井 友里絵（管理栄養士）

腎不全期の重症化予防 — 看護のチカラでできること —

川崎医科大学附属病院 宇於崎 祐美子（看護師）

岡山県における糖尿病性腎症重症化予防への取り組み

岡山大学病院 糖尿病センター 長田 麻里（看護師）

12:15～13:00 ランチョンセミナー

座長：岡山大学病院新医療研究開発センター 四方 賢一（医 師）

糖尿病性腎症重症化予防における CDE の役割

佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科 安西 慶三（医 師）

13:05～13:55 エキスパートレクチャー 2

座長：岡山旭東病院 内科/倉敷中央病院 糖尿病内科 松岡 孝（医 師）

糖尿病性神経障害の病態・臨床病期とケアのポイント

鹿児島大学病院 総合臨床研修センター／糖尿病・内分泌内科 出口 尚寿（医 師）

14:00～15:00 スキルアップセッション 3 肥満症合併糖尿病患者に対する管理栄養士の関わり

座長：岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学 江口 潤（医 師）

自分の身体への『自信』を取り戻すケア

愛媛大学病院 栄養部 竹島 美香（管理栄養士）

高度肥満症の外科治療における糖尿病改善効果

広島大学病院 栄養管理部 長尾 晶子（管理栄養士）

減量・代謝改善手術の術前管理：減量プログラムと栄養管理

徳島大学病院 栄養部 栗田 由佳（管理栄養士）

15:05～16:05 スキルアップセッション 4 糖尿病網膜症

座長：岡山大学病院 料治 三恵（看護師）

眼科における糖尿病網膜症患者への検査

岡山大学病院 眼科 金永 圭祐（視能訓練士）

「^み視る」を「^み見て」支える～当院の糖尿病網膜症療養支援～

倉敷成人病センター 看護部 笹邊 順子（看護師）

岡山大学病院 眼科外来看護師の取り組み

～処置中心の看護から、患者の生活に寄り添った看護へ～

岡山大学病院 看護部 外来Ⅰ 長門 理子（看護師）

16:05～16:10 世話人 閉会挨拶

岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学 和田 淳（医 師）